

## 臨床研究に関する情報公開

研究課題：腸管出血性大腸菌感染症に続発する溶血性尿毒症症候群の発症・予後規定因子を検討する症例対照研究

### <研究の目的及び意義>

腸管出血性大腸菌感染症は嘔吐、下痢、血便などの症状を起しますが、一部の方に菌が産生する毒素によって貧血や腎障害などをおこす溶血性尿毒症症候群という重い合併症を伴います。残念ながら最適な診療については不明な点が多いのが現状です。本研究では、国立成育医療センターが中心となり、全国の患者さんの症状や治療とその後の経過について調べます。最終的には、この結果をまとめて、合併症を未然に防ぐ最適な方法について検討します。

### <研究内容>

2017年1月1日から2018年12月31日までに、当院が腸管出血性大腸菌感染症と診断し、保健所に届け出た患者様が対象です。研究機関は倫理委員会承認後から2022年12月31日です。匿名化（誰の情報か直ちに判別できない状態）された情報（背景、症状、検査、薬剤投与歴、転帰）を国立成育医療センターが集め、解析します。

### <個人情報>

個人情報は厳重に管理いたします。この研究へのご自身の診療録情報の利用を望まれない場合には、研究には使用いたしません。下記連絡先までご連絡ください。しかしながら解析終了後または学会や論文での発表後にはデータを削除できないことがありますので御承知ください。

### <その他>

本研究は岡崎市民病院の臨床審査委員会の審査を受け、承認されています。この研究に関して、追加でご負担いただく費用はありません。また、謝礼もありません。本研究に関して質問がある場合、参加を辞退されたい場合は、下記連絡先までご連絡ください。

### 連絡先

岡崎市民病院 感染対策室

研究責任者名 辻 健史

住所 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合

電話番号 0564-21-8111、FAX 0564-25-2913